

# 保健体育科学習指導案

平成17年1月27日(木) 第3校時

第2学年A・B組

指導者 林 崇夫

場 所 体育館

## 授業の視点

課題解決的な学習過程を通して、ポイントカードを提示して支援したことは、生徒が意欲をもち主体的に行動する為に有効であったか。

### 1 単元名 バスケットボール

### 2 考察

#### (1) 教材観

球技は、作戦を立てて勝敗を競う過程や楽しさや喜びを味わうことができるようにすることが大切である。中でも、バスケットボールは、特に「チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。」という新学習指導要領の趣旨をふまえて、一人ひとりが活躍の場を設定できるためのルールの工夫やチームの課題を解決するための練習計画作りができる教材である。

バスケットボールは、一人でも集団でも楽しむことができるスポーツで、親しみやすく一般的にも広く知られている。パスやドリブルを使ってボールを進め、相手の防御をかわしてシュートし、集団対集団で勝敗を競い合うところに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。また、勝敗を競うだけでなく、ゲームやチームで協力して行う基本的技能の習得練習などを通して、集団的スポーツでしか味わえない仲間との交流を通して楽しみや喜びを感じることができる。また、チームの一員としての役割を果たしたり互いの特性を生かした練習やゲームにより、集団として協力する態度を身に付けることができる。また、学習を通してチームで攻撃と攻防の作戦を立てるおもしろさを感じたり、その作戦が成功したときの喜びを味わったりしながら、バスケットボールの集団的技能や個人的技能の向上をめざして練習し、技能を習得する充実感を味わうものである。

また、ルールの選択の幅をもたせやすく、自分たちの体力や成熟度にあったルールを考えたりすることができるため「みんなが楽しめる」といった生涯スポーツの基礎となる考え方を養うことができると考える。技能面については、攻守の入れ替えが速いことから、変化に対応できる素早い判断力とスピーディーな動作と敏捷性、巧緻性が重要な要素となり、走力、跳力、投力などをバランス良く高めることができる。知識、理解面では、接触プレーの多いバスケットボールを安全に行うために必要なルールを理解したり、そのルールを用いてゲームを運営することにより公平な判断力や公正な態度を養うことができる。本単元では、バスケットボールでの課題解決を目指して、自己の体力や技能に合った学び方を身に付けた生徒を育成できると考える。

#### (2) 生徒の実態

(2A組男子12名・女子11名：計23名、2B組男子13名・女子11名：計24名、学年計47名)

体育の授業に対する生徒達の取り組みは、意欲的で、特に体育が楽しみと答えた生徒は33人いる。球技の中でバスケットボールが好きと答えた生徒は、サッカー、バレーボールについて3番目であった。バスケットボールは、シュートが入らなかったりパスやドリブルやキャッチができないために意欲をなくしていることが原因と考えられる。そのため、まず、ボールに対する恐怖心を取り除き、集団的スポーツの特性から、楽しくゲームをする中で個人的技能を学習させていく必要がある。

本題材に関わる事前調査の結果は、以下の通りである。

【12月中旬アンケート実施】

- |  |                         |
|--|-------------------------|
| 、バスケットボールで楽しいと思うのはどんなときですか。複数回答可         |                         |
| ア、シュートが決まった時... 27人                      | イ、試合をして勝った時... 6人       |
| ウ、効果的なパスができた時... 5人                      | エ、ドリブルなどで相手をかわした時... 3人 |
| オ、ボールがさわれた時... 3人                        | カ、その他... 3人             |
| 、バスケットボールを取り組むうえでの自分の課題は何ですか。複数回答可       |                         |
| ア、シュートが入るようにする... 20人                    | イ、効果的なパスが出せるようにする12...人 |
| ウ、前向きな授業への取り組み... 8人                     | エ、ドリブルが上手になる... 5人      |
| オ、その他... 5人                              |                         |
| 、バスケットボールを通してどんな力が身に付くと思いますか。複数回答可       |                         |
| ア、身体能力の向上... 26人                         | イ、頑張ろうと思う力... 15人       |
| ウ、集中力... 13人                             | エ、協力する力... 7人           |
| オ、体力... 6人                               | カ、その他... 5人             |
| 、バスケットボールでけがをしないために注意することはどんなことですか。複数回答可 |                         |
| ア、ふざけずに真剣に取り組む... 25人                    | イ、準備運動をしっかりとやる... 17人   |
| ウ、危険なプレー(ファウル)をしない... 12人                | エ、爪を切っておく... 5人         |
| オ、その他... 4人                              |                         |

#### 「関心・意欲・態度」

運動領域別に生徒の興味、関心の度合いを見ると、陸上競技、器械運動などの個人的な運動が低い傾向にあるが、反面球技は圧倒的に高い。理由としては、勝負に勝った時の楽しさやシュートが決まった時の爽快感を挙げる生徒が多い。勝敗やプレーの結果に関心があり、その解決過程には、余り目が向いていない。安全に留意して練習やゲームをしようとする意識は高い。

#### 「思考・判断」

自己・チームの課題を練習やゲームの中でどう解決していくかを、チーム全員で協力してアドバイスしあいながら取り組む姿が見られる。自己・チームの課題に合わせたルールを工夫しようとする意識は低い。

#### 「運動の技能」

男女差・個人差が顕著である。技能の高い生徒が低い生徒をディフェンスした際には、簡単にボールを奪われてしまう。オフェンスの際にも同様なことが言える。また、一部の生徒は運動を得意としており活発な行動が見られる生徒がいるが、運動することを苦手としている生徒も数名いる。

#### 「知識・理解」

個々においての課題はそれぞれもっているもので、練習計画の立て方や克服する為の方法やルール（技術面・作戦面・精神面）を深く考えられる生徒を中心に話し合いを進めている。

### （３）教材の系統

生徒は、小学校でポートボールを学習している。このときには、ボールをつくこと・パスをすること・シュートを中心とした基本動作やゲームの中で集団的動作を学んできている。中学校では初めて２年次にバスケットボールを履修する。これまでの学習を生かしながら、個人的・集団的スキルやルールを学び、仲間と協力しあいながら取り組むことで楽しみながら技能を修得でき充実感を味わえる。３年次には、バレーボールとバスケットボールの選択で履修する。２年次のみバスケットボールを履修の生徒もいるが、生涯にわたる豊かなスポーツライフ及び健康の保持増進の基礎を培うことができると考える。

### （４）指導方針

- ・一人ひとりが様々な課題をもっていることを理解し、個々に応じた自己課題を設定し練習に取り組みせていきたい。（課題把握）
- ・生徒が興味をもって課題解決に臨めるような「学習の場」を工夫したい。（課題追究）
- ・個人技能は、ゲームの中で生かせるよう、集団的な活動をいつもイメージさせていくよう取り組ませたい。
- ・ポイントカード等を準備し、個々の課題に応じた支援を行いたい。（課題追究への支援）
- ・バスケットボールに対する意欲付けの一つとして、学習カードを用いる。目標値や練習の成果がわかるようにするとともに、自己評価・相互評価に活用したい。（振り返り・以上課題解決的な学習）
- ・一人ひとりの運動量を確保したり技能の習熟を高めたりすることに留意したい。
- ・安全に対する十分な態度と計画的な学習の仕方を学ばせ、学習意欲を引き出していきたい。
- ・グループで協力して後片付けをしたり、互いに励まし合ったりする態度を身に付けさせる。
- ・怪我などで練習やゲームができない生徒には、状況に応じて練習補助や審判など役割をもたせる。

### （５）授業中における生徒指導

- ・生徒の練習場面をより細かく観察して、意欲面・技能面など生徒の多面的理解に努めるように心がける。
- ・生徒一人ひとりの実態を把握し、よさを認め引き出すよう努める。
- ・より多くの生徒にアドバイスの機会をもち、自己存在感や満足感をもてる場を設定できるようにする。
- ・お互いの特性を認め合い、どんな時でも励まし合う指導の工夫をする。
- ・どんな時でも、教師または生徒同士で助け合い、励まし合い、お互いを認めあうなど、心の触れ合いを重視した指導の充実を図る。

### （６）校内研修とのかかわり

生徒がめあてに沿って学習を進められるよう、自己評価カードを使用し次時に生かしていけるよう活用していく。お互いを認め合いながら学習できるようグループ活動を取り入れ、個人的・集団的基本的技能を向上させ、発展的な課題を工夫し更なる学習意欲の向上を目指す。

## ３ 単元の目標

- （１）チームの課題や自己に適した課題をもってバスケットボールを行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。（技能）
- （２）チームにおける自己の役割を自覚し、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。（態度）

(3) チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。(学び方)

#### 4 評価規準

「関心・意欲・態度」(運動への関心・意欲・態度)

バスケットボールの特性に関心を持ち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとすると共に、勝敗に対して公正な態度を取ろうとする。さらに、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

「思考・判断」(運動についての思考・判断)

チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したりして作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。

「技能」(運動の技能)

バスケットボールの特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

「知識・理解」(運動についての知識・理解)

バスケットボールの特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解すると共に、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。

#### 5 指導計画及び評価計画(本時は、12時間予定の7時間目)

おおむね満足できる ( ) 十分満足できる

過程	本時のねらい (主な学習内容)	時間	評価項目(方法)			
			関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
学習 2時間	オリエンテーションを行う。 ・学習のねらいを理解し、学習の進め方を見通す。 ・グループ編成を行う。 ・次回からの授業の流れを確認する。	1	バスケットボールの特性に関心を持ち、ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとしている。(意欲的に) 「観察・学習カード」			バスケットボールの学習の進め方が分かる。 (課題を解決すること) 「学習カード」
	チーム編成を行う。試しのゲームを行い現在の自分の課題を知る。 ・用具の安全な使い方、準備と片づけの仕方を確認する。	1		今もっている自分や相手の技能などを把握し、それに応じた作戦を立てている。 (的確に) 「観察」	今もっている技能を發揮してゲームを行うことができる。 (理想的な動き) 「観察」	
学習 4時間	ねらい1 今もっている(できる)技能を使って、いろいろなチームと対戦してゲームを楽しむ。 基礎的な個人技能が高まるよう、チームや個人の課題を設定する。 ・パスアンドラン ・カットイン ゲーム	1	施設・設備の安全や用具の管理をするなど健康・安全に留意しようとする。 (意欲的に) 「観察」	自分の課題を確認し、技能の向上につながる練習ができる。 (的確に・工夫して) 「観察・学習カード」		
	個人的技能練習をゲーム化して行う。 ・ドリブル(ピポット) ゲーム	1		課題解決のための練習方法が見つけられる。 (的確に) 「学習カード」		バスケットボールの個人的な技能の練習の仕方が分かる。 (課題に合った) 「観察・学習カード」
	パスの練習をゲーム化して行う。(チェストパス・アンダーパス・オーバーパス・バウンズパス・ショルダーパス) ゲーム	1	教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとする。 (意欲的に) 「観察」	ゲームを通して自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいく。 (的確に) 「観察・学習カード」		
	シュートを主体とした練習を行う。 ゲーム	1			パス・ドリブル・シュートなどの基礎技能を行うことができる。 (理想的な動き) 「観察」	バスケットボールのルールを理解している。 (細かい所まで) 「観察」

学 習  4 時 間	ねらい2（本時） 技能を高め、相手に応じた 作戦や練習を工夫してゲー ムを楽しむ。 グループに分かれて課題 練習を行う。 ゲーム	1	危険なプレーをしな いで練習やゲームをす るなど、健康・安全に 留意しようとする。 （意欲的に） 「観察」	チームの課題を確認 し、技能の向上につな がる練習ができる。 （的確に・工夫して） 「観察・学習カード」		
	グループに分かれて課題 練習を行う。  ゲーム オフェンス ディフェンス	1	教え合ったりして互 いに協力しながら、進 んで練習やゲームをし ようとする。 （意欲的に） 「観察」		チームや自分の能力 に適した課題の練習や ゲームを通して集団的 技能を高めることがで きる。 （十分に） 「観察」	
	グループに分かれて課題 練習を行う。  ゲーム オフェンス ディフェンス	1		ゲームの結果からチ ームや自分の新たな課 題を明らかにし、技能 の向上に伴う新たな練 習の仕方を選んだり作 戦を立てたりしている。 （的確に・工夫して） 「観察・学習カード」		守備の原則・攻撃 パターンやその練習 の仕方を知ってい る。 （チームにあった） 「観察・学習カード」
	グループに分かれて課題 練習を行う。 ゲーム オフェンス ディフェンス			自分や相手の技能の 程度などを把握し、そ れに応じた作戦を立て ている。 （的確に） 「観察」	ゲームで自分の役割 を理解したプレーがで きる。 （友人へ助言するこ とができる） 「観察」	
ま と め 2 時 間	係を分担して主体的にバ スケットボールのゲームを 運営すると共にまとめのゲ ームを行う。	1	自分の役割を自覚し て責任を果たし、ゲー ムをしようとしている。 （的確に） 「観察」		相手チームに対応し た作戦を立ててゲー ムできる。 （的確に・十分に） 「観察・学習カード」	
	係を分担して主体的にバ スケットボールのゲームを 運営すると共にまとめのゲ ームを行う。 学習を振り返り、感想や 意見をまとめる。	1	ルールを守り、審判 の判定や指示に従い、 勝敗や結果を受け入れ ようとする。 （ルールを理解して） 「観察」			運営やルール、審 判の方法を知ってい る。 （的確に） 「観察」

## 5 本時の学習

### (1) ねらい

安全に留意し、自己のめあてをもち、仲間と協力し教え合いながら練習やゲームを楽しむことができる。

### (2) 準備

生徒 学習カード・筆記用具

教師 CDデッキ・ゼッケン

(3) 展開

時間	学 習 活 動	支援・指導上の留意点	評価項目・方法
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーミングアップ</li> <li>体ほぐし運動を行う。</li> <li>本時のめあてと学習内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女別にコートを利用し行う。</li> <li>本時の学習課題を説明する。</li> <li>自分自身の学習内容、めあてをしっかりとつかめるように助言する。</li> <li>リーダーや係を中心に、主体的にできるよう働きかける。</li> </ul>	
20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習（めあて ） 各自の計画表に基づき前時までのできばえを確認し、練習に取り組む。</li> <li>課題解決に向けて、チームのめあてに沿って仲間と協力して練習をする。</li> </ul> <p>：課題が明確で、その練習が的確であり、工夫されている。</p> <p>：協力して練習しているが、課題が明確でない。</p> <p>：チームの協力性、主体的な学びに課題</p> <p>：個人的技能に課題</p> <p>：集団的技能に課題</p>	<p>の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>よいところを賞賛し、積極的に他のチームに紹介する。</li> </ul> <p>の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己やチームのめあてに沿って、練習できるように必要に応じて助言する。</li> </ul> <p>の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間と協力して練習ができるように、助言する。</li> <li>練習がうまくいかない場合は友達と相談させたり、助言する。</li> <li> の場合</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>チームの課題解決の為のポイントカードを提示し、支援する。</li> <li>(1) (個) シュート</li> <li>(2) (個) パスとキャッチ</li> <li>(3) (個) ドリブル</li> <li>(4) (集) 速攻</li> <li>(5) (集) セットオフフェンス</li> <li>(6) (集) マンツーマンディフェンス</li> <li>(7) (集) ゾーンディフェンス</li> </ul>	<p>チームの課題を確認し、技能の向上につながる練習ができる。 (的確に・工夫して) 【考】「観察・学習カード」</p> <p>危険なプレーをしないで練習やゲームをするなど、健康・安全に留意しようとする。 (意欲的に) 【関】「観察」</p>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲーム（めあて ） 半コートを使用し、勝ち残りのゲームを行う。</li> <li>) チームが協力しながらゲームができる。</li> <li>) 安全に気を付けながらゲームができる。</li> <li>) チームの協力性に課題があり、消極的である。</li> <li>) 危険なプレーが見られる</li> <li>) 技能に課題が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習した技能を發揮できる場面を見つけ積極的に挑戦するよう助言する。</li> <li>) の場合</li> <li>よいところを賞賛し、積極的に他のチームに紹介する。</li> <li>) の場合</li> <li>ゲームの中で練習の成果が見られた時やシュートを決めた時、またチーム内の協力でプレイが成功した時はおおいに賞賛できるよう助言する。</li> <li>) の場合</li> <li>著しく危険なプレーに対しては、ゲームを止めて、ルールなどを解説する。</li> <li>) の場合</li> <li>チームの課題解決の為のポイントカードを提示し、支援する。</li> <li>(1)～(7)のポイントカードを示す。</li> </ul>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動で良かった点や頑張った点を出し合い、賞賛し、次時への意欲をもたせる。</li> </ul>	

	性別	授業	バスケ	楽しいと思う時は	怪我への注意	個人のねらい・目標	てだて
1	男			ドリブルでぬいた時	ファウルをしない	得点に絡む	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
2	男			シュートが決まった時	準備運動をしっかりやる	ドリブルが上手になるようにする	手を上下させボールに長く持たせられるよう指導する。
3	男			ドリブルでぬいた時	無理をしない	積極的に動く	オープンスペースに走り込むことを身に付けさせる。
4	男			シュートが決まった時	危険なプレーをしない	シュートが入るようにする	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
5	男			試合をしている時	調子に乗らない	シュートが入るように練習する	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
6	男			シュートが決まった時	真面目に取り組む	シュート力を付ける	チーム内での自分の役割を自覚させる。
7	男			シュートが決まった時	準備運動をしっかりやる	得点に絡む動きとシュート力	リバウンドのポジションの取り方を指導する。
8	男			シュートが決まった時	ふざけない	得点に絡む動きとシュート力	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
9	男			シュートが決まった時	準備運動をしっかりやる	シュート力を付ける	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
10	男			チームが勝った時	爪を切っておく	チームを勝利に導く	集団としての動きをチームに声かけできるように促す。
11	男			シュートが決まった時	爪を切っておく	ドリブル・シュート力身に付ける	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
12	男			シュートが決まった時	エキサイトしすぎない	うまいパスができるようにする	集団としての動きをチームに声かけできるように促す。
13	女			効果的なパス	周りを見ながらプレーする	頭を使って仲間を助ける動き	ボールや相手の接触を怖がらないよう支援していく。
14	女			ボールがさわられる	人との衝突を避ける	シュートができるように	ボールや相手の接触を怖がらないよう支援していく。
15	女			シュートが決まった時	準備運動をしっかりやる	声を出してパスをもらう	集団としての動きをチームに声かけできるように促す。
16	女			シュートが決まった時	準備体操をしっかりやる	パスをつなげ点が取れるように	効果的なパスができるよう指導する。
17	女			ボールの取り合い	周りを見ながら動く	積極的にボールを取りに行く	ボールや相手の接触を怖がらないよう支援していく。
18	女			シュートが決まった時	ラフなプレーをしない	上手にパスができるように	前向きな姿勢での取り組みができた時には、褒める。
19	女			シュートが決まった時	準備運動をしっかりやる	積極的に声を出しボールに絡む	オープンスペースに走り込むことを身に付けさせる。
20	女			シュートが決まった時	準備運動をしっかりやる	きれいなフォームのシュート	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
21	女			走ったりすること	ふざけない	シュートをできるだけする	前向きな姿勢での取り組みができた時には、褒める。
22	女			得点が決まった時	準備運動をしっかりやる	シュートが決まるようにする	集団としての動きをチームに声かけできるように促す。
23	女			よくわからない	準備運動をしっかりやる	いっぱいボールに触れ怪我に注意	前向きな姿勢での取り組みができた時には、褒める。
24	男			シュートが決まった時	体操・ファウルをしない	ドリブルシュートがうまくなる	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
25	男			シュートが決まった時	危ない行動をしない	跳躍力を付ける	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
26	男			シュートが決まった時	爪をのばさない	シュート力を付ける	オープンスペースに走り込むことを身に付けさせる。
27	男			相手をかかわす	危険なプレーを避ける	相手の動きに対しての動き	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
28	男			シュートが決まった時	無理をしない	ボールコントロールが上手になる	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
29	男			シュートが決まった時	怒らない	疲れない	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
30	男			試合をすること	ルールを守る	みんなと協力して楽しく授業する	オープンスペースに走り込むことを身に付けさせる。
31	男			攻守が交代すること	体操をしっかり行う	チームワークを大切にす	集団としての動きをチームに声かけできるように促す。
32	男			シュートが決まった時	体操をしっかり行う	楽しく授業を受ける	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
33	男			シュートが決まった時	体操をしっかり行う	みんなの足手まといにならない	前向きな姿勢での取り組みができた時には、褒める。
34	男			試合で勝つこと	準備体操・爪の管理	リバウンドで誰にも負けない	集団としての動きをチームに声かけできるように促す。
35	男			シュートが決まった時	良く動く・ふざけない	シュート力を付ける	前向きな姿勢での取り組みができた時には、褒める。
36	男			シュートが決まった時	ファウルに注意	授業を楽しく受ける	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
37	女			ボールが回ってきた時	準備運動をしっかりやる	パス・シュート・ドリブル修得	手を上下させボールに長く持たせられるよう指導する。
38	女			効果的なパスできた時	無理な動きをせず怪我注意	ちゃんとパスするまで責任を持つ	効果的なパスができるよう指導する。
39	女			ゴールにつながるパス	危険なプレーをしない	パスがもらいやすい位置に動く	オープンスペースに走り込むことを身に付けさせる。
40	女			シュートが決まった時	周りをしっかり見てプレー	怪我に気を付けて楽しく取り組む	集団としての動きをチームに声かけできるように促す。
41	女			良いパスができた時	体操をしっかり行う	ドリブルが上手に・シュート力	手を上下させボールに長く持たせられるよう指導する。
42	女			シュートが入った時	無理をしない	パスをもらえる位置に移動する	オープンスペースに走り込むことを身に付けさせる。
43	女			シュートが決まった時	無理をしない	シュート力・パスを上手にする	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
44	女			ボールの取り合い	ムキになりすぎない	シュート力を付ける	理想的なシュートフォームを身に付けさせる。
45	女			チームで点を入れる	準備運動をしっかりやる	パスを出す位置を見る	周りをよく見てプレーできるよう指導する。
46	女			勝った時	準備運動をしっかりやる	ボールにさわられるように動く	手を上下させボールに長く持たせられるよう指導する。
47	女			パスがつながる時	周りをしっかり見て動く	パスをつなげられるようにする	集団としての動きをチームに声かけできるように促す。